熊谷市
記者クラブ取材情報

令和5年10月27日発表
担当課：熊谷市教育委員会
社会教育課

タイトル

令和5年度　熊谷市文化功労者・教育関係職員表彰式

1．日時　令和５年１１月３日（金・祝日）　１０時００分　開式

2．場所　熊谷市立大里生涯学習センター　あすねっと

3．事業概要

＜事業内容＞
【式典】
・文化功労者３名　小野　　實　氏（体育　７８歳）
　渋谷　友幸　氏（学校教育　７３歳）
　菅谷　浩之　氏（文化　８０歳）

・教育関係職員表彰者２７名（学校教職員２０名、学校医６名、公民館職員１名）

＜目的＞
・文化功労者：教育・学術・文化・体育の振興について特に功績が顕著である方を表彰する。
・教育関係職員表彰：熊谷市内在勤１５年以上で勤務成績が良好である者を表彰する。

＜影響・効果＞
文化芸術及び教育活動を行っている方々の励みになり、各分野の振興に資することになる。

4．特徴やPRポイント

5．その他

＜主催者＞
熊谷市教育委員会
代表者　野原　晃
＜連絡先＞
０４８－５２４－１１１１　内線（３９４）

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　熊谷市教育委員会社会教育課　後上
連絡先　ＴＥＬ　０４８－５２４－１１１１内線（３９４）shakaikyoiku@city.kumagaya.lg.jp

熊谷市文化功労者

小野（おの）　實（みのる）　氏　（７８歳）

深谷市

氏は、長年にわたり熊谷市のテニス教室の指導やテニス大会の企画運営に熱心に取り組み、テニス競技を普及発展させ、市民のスポーツへの関心を大いに高められました。

昭和４９年から開始された早起きテニス教室において、大勢の参加者を得てテニスの普及に大きく貢献されるとともに、熊谷市テニス協会の要職を歴任し、ナイターテニス教室やキッズテニス教室を開催し、現在も指導者として幅広い年齢層にテニスの楽しさを教え続けておられます。指導者の育成では、プロのテニスプレーヤーやコーチを招聘して講習会を開催し、地域指導者の技術や指導方法のレベルアップを図りました。

熊谷さくらマラソン大会には、競技役員として第１回から運営に携わり、毎回改善を重ね、全国ランニング大会百撰に選ばれる大会にまで成長させることに寄与されました。また、総務報道委員長として、ドクターランナーの導入等の安全面強化やきめ細やかな報道等に尽力し、大会の発展に貢献されました。

さらに、公益財団法人熊谷市スポーツ協会常務理事施設専門委員長として、協会管理施設を視察、点検して柔道場周囲安全マットの設置の進言など、安全な施設の維持向上に努められました。

このように、スポーツの振興、発展に尽力し、市民の健康や生きがい、豊かさを実感できる社会の構築に寄与された功績は誠に顕著であります。

熊谷市文化功労者

渋谷（しぶや）　友幸（ともゆき）　氏　（７３歳）

熊谷市大原

氏は、平成3年8月に熊谷市大原にしぶや医院を開設され、長年臨床医として活躍された小児科を中心に地域医療の維持発展に貢献されています。特に、平成20年からは熊谷市小児科医会会長として、18名の小児科医を統率し、市域における小児疾患の診療やワクチン接種、健診など小児医療全般の推進を主導されています。

また、平成4年4月から31年余りの長きにわたり、市内小学校の校医として児童の健全な成長と健康の維持増進に尽力されるとともに、教職員への指導を通じて安全で衛生的な教育環境の整備に貢献されています。

さらに、平成21年5月まで熊谷市学校保健会の会長を務められるなど会の要職を歴任し、小児科医や熊谷市医師会役員としての豊富な知見を基に、学校医をはじめ学校歯科医、学校薬剤師、学校長、保健主事等の学校保健関係者と連携を図り、学校保健の充実と普及発展に寄与されました。現在も、顧問として後進の指導・育成に当たっておられます。

また、平成１０年４月から１２年にわたり一般社団法人熊谷市医師会の理事として尽力され、学童検診委員会や母子保健検討委員会、予防接種委員会等の担当理事として、学童の心臓健診や乳児検診、予防接種、小児生活習慣病健診の実施等に当たり、会を代表して熊谷市との連携を図り、事業化とその円滑な運営に努められました。

このように児童、生徒及び地域住民の健康増進のため、本市の医療、保健の充実及び発展に大きく貢献された功績は、誠に顕著であります。

熊谷市文化功労者

菅谷浩之（すがやひろゆき）　氏　（８０歳）

熊谷市玉井

氏は、県立高等学校や県教育局等において高等学校教育に尽力する傍ら、一貫して古墳文化を中心とした考古学による古代の歴史研究に情熱を傾けてきました。

本市文化財保護審議会委員を昭和４８年４月から通算３８年余りの長きにわたり務められ、考古学研究を主軸にした深い知見を活かし、本市文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査、審議を行った上で、的確な意見等を活発に提言し、学術的・歴史的に価値の高い歴史資料等の指定など、本市の歴史や文化の語り部ともいえる文化財の保護に尽力されています。同審議会の会長に就任してからは、会の運営はもとより、事務局に対しても確かな指導力を発揮し助言等を行い、本市の文化財保護の推進に大きく貢献されました。また、現在埼玉県文化財保護協会会長も務めておられます。

平成３０年度からは、熊谷図書館講座・子ども歴史教室の講師を務められ、熊谷の歴史を彩る史跡、文化財、人物について小学校高学年の児童等を対象に講義を行い、子供たちにも分かりやすい歴史教育に力を尽くされています。令和４年３月には、この講義の集大成ともいうべき『通史でたどる　熊谷の歴史』を刊行し、多くの市民へ、いかに分かりやすく本市の歴史を伝えたらいいか、常に苦心されておられます。

このように、氏は本市の豊かで魅力ある歴史や文化の普及、保護意識の醸成や向上に大きく貢献し､その功績は誠に顕著であります。